

松原秀典展



松原 秀典

アニメーター
キャラクターデザイナー
イラストレーター

富山新聞創刊100年を記念して、富山新聞創刊の地・高岡市にて、高岡市出身のアニメーター松原秀典氏の作品展を開催することとなりました。自身が作画監督・キャラクターデザインを手掛け、数々の賞を受賞した「この世界の片隅に」をはじめ、代表作でもある「サクラ大戦」、大ヒットした話題作「エヴァンゲリオン」シリーズの3作品から、前回2012年に開催された原画展以降に制作された作品および未発表作品を中心に手描きの貴重なキャラクター設定資料を加えた200点以上を展示します。そのほか、彼がキャラクターデザインを手掛けた「あみたん娘」とそれに関わりのあるキャスト、ものづくりのまち高岡ならではの伝統工芸との結び付きも紹介。

全国でも、ここだけ、今しか見ることのできない 松原秀典ワールドをお楽しみください！

1965年生まれ。富山県出身。富山県立高岡工芸高等学校デザイン科卒業。株式会社カラー所属。ガイナックスに所属後、「王立宇宙軍 オネアミスの翼」「ふしぎの海のナディア」「新世紀エヴァンゲリオン」などに参加。ゲーム「サクラ大戦」、OVA「ああっ女神さまっ」でキャラクターデザイン、総作画監督を務め、アニメファンから注目を集める。その後テレビアニメ「嵐窟王」、映画「とある飛空士への追憶」「エヴァンゲリオン新劇場版」シリーズなど、多くの作品においてキャラクターデザイン、作画監督などアニメーターとして活躍した。

近年では、遂に完結となった「シン・エヴァンゲリオン劇場版」、戦時中の日常を細やかに描いて話題を呼んだ「この世界の片隅に」「この世界の(さらにいくつもの)片隅に」、音楽映画「Adam by Eve: A Live in Animation」の「暴徒」パートなど、アニメーション的にもタイプの異なる作品でキャラクターデザイン、作画監督を担当し、熟練したアニメーターとして仕事の幅の広さを見せつつ、精力的に活動を続けている。

地元である高岡の力になればと、2012年に高岡の象徴でもある高岡大仏をモチーフにした「高岡市観光大使あみたん娘」のキャラクターデザインを手掛けるなど、いまでも高岡市との繋がりは深い。



この世界の片隅に
©2019 こうの史代・コアミックス / 「この世界の片隅に」製作委員会



エヴァンゲリオン新劇場版
© カラー 画：松原秀典



サクラ大戦
©SEGA イラスト：松原秀典

Event 会期中のイベント

● 松原秀典トークショー

11/3 (金・祝) 13:00~14:00

会場 富山新聞高岡会館
(高岡市広小路1-15)

※参加申込受付中

● 声優トークショー

11/26 (日) 14:30~15:30

会場 富山新聞高岡会館
(高岡市広小路1-15)

※参加申込受付中

● 松原秀典サイン会

①11/3 (金・祝) 14:30~16:30

②11/4 (土) 10:00~12:00

③1/7 (日) 14:00~16:00

④1/8 (月・祝) 10:00~12:00

会場 高岡市立博物館 3階講堂

※先着150~200名程度(申込不要)

● あみたん娘来場(予定)

11/12(日)、12/10(日)・24(日)、1/6(土)

10:00~14:00頃を予定しております。

写真撮影等は周囲のお客様の迷惑にならないようにご配慮いただきますようお願い致します。



カノン役
山本 希望



セシル役
エリザベス・マリー

各イベントへの参加条件等は、HPにてご確認ください。

北國新聞イベントガイド▶



あみたん娘
©TR@P / 松原秀典

記念撮影 背景パネル

「この世界の片隅に」の劇中に登場するシーンをバックに記念写真を撮ろう！



スマホアプリのAR機能で「すずさん」と一緒に写真が撮れます！



交通のご案内

【JR新高岡駅より】

- ・南口バス乗り場(1番か2番)で加越能バス「高岡駅」方面に乗り、「高岡駅南口」バス停下車
- ・JR城端線で高岡駅へ

【高岡駅より】

- ・加越能バス「市民病院・職安前」行き「大手町」バス停下車、徒歩5分
- ・徒歩約15分(高岡駅前より北東約1km)

【お車で越しの場合】

博物館前の駐車台数には限りがありますので、小竹藪駐車場・北口駐車場(いずれも無料/終日開放)をご利用ください。

高岡市立博物館 〒933-0044 富山県高岡市古城1-5
TEL 0766-20-1572 <https://www.e-tmm.info/>

❶ お願い
必ずお読みください



展示室内は撮影禁止となります。



展示室は1階と2階にあります。館内にエレベーターはありませんので、ご了承ください。